

日本学術会議学術フォーラム

エネルギー・科学技術教育の現状と課題

クリーンで経済的なエネルギー供給は現代社会の基盤であり、地球温暖化問題とも密接な関係があり、人類社会の持続可能な発展を支える重要な柱です。しかし、エネルギー問題は、科学・技術分野から社会・経済分野まで広範囲の学術に関わる大変複雑な問題であるため、総合的な把握が必要にも拘らず、一般には部分的にしか理解されていません。そこで、日本学術会議エネルギーと科学技術に関する分科会では、エネルギーに関する学校教育をはじめ社会全体を対象とした教育の問題が重要であり、またエネルギー科学技術と社会との接点をどう作っていくかを検討する必要があるとの認識に基づき、社会的視点も含めて、エネルギー科学技術に関する教育の課題について、公開シンポジウムを開催します。現場で教育を行っている先生方の講演等に基づき、エネルギー問題にかかわる学術から社会への情報発信を効果的に行うために何をすべきかを考えます。

13:30 開会挨拶 鈴置 保雄（日本学術会議第三部会員、愛知工業大学教授）

話題提供

13:35 「エネルギー・科学技術教育の現状」
藤本 登（長崎大学教育学部教授）

14:05 「理科の実践事例」
大谷 健一郎（川崎市立中野島中学校教諭）

14:25 「社会の実践事例」
関谷 文宏（筑波大学附属中学校主幹教諭）

14:45 「技術の実践事例」
河野 卓也（大津市立志賀中学校主幹教諭）

15:05 「参加型エネルギー教育プログラムの実践事例」
柳下正治（環境政策対話研究所代表理事、上智大学客員教授）

15:25 休憩

15:45 パネルディスカッション
ファシリテータ：山地 憲治（日本学術会議連携会員、地球環境産業技術研究機構理事・研究所長）
パネリスト：藤本登、大谷健一郎、関谷文宏、河野卓也、柳下正治

17:25 閉会挨拶 秋澤 淳（日本エネルギー学会「エネルギー学」部会長、東京農工大学教授）

2018年9月8日（土）13:30～17:30

会場：日本学術会議 講堂（東京都港区六本木 7-22-34）
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口すぐ

参加費：無料（先着順 定員 300名、事前申込不要 * 入場時にお名刺またはご記帳いただきます）

主催：日本学術会議（企画：総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会）

共催：日本エネルギー環境教育学会

日本エネルギー学会「エネルギー学」部会

関東甲信越エネルギー教育地域会議

本シンポジウムとSDGsとの主なかかわり



教育



エネルギー



気候変動